



自然を
楽しむ

⑨

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

「退化と進化の共存」

昆虫の翅は4枚、いえいえ、ハエ、カ、アブ等の双翅目(ハエ目)類では、飛翔のための翅は2枚ですが、後翅が退化して写真のハエのように進化して「平均棍」という器官ができました。

ハエ等が空中を自由にアクロバット飛行できるのは、この平均棍が回転型ではなく、振動型の超小型・超高性能なジャイロスコープとしての感覚器官として飛翔を助けているからなんですね。そのため、小さな平均棍を切除すると、ハエは飛べなくなります。